

一年生の子が給食の片づけをしているのを、廊下を歩いて見つけました。二人で食器を持って、載せようとしています。

ある子が私の姿を見つけて、「校長先生、重いから手伝って」と、大きな声で私を呼びました。

すると、持っていた子の一人が「大丈夫、自分たちでできる」と頼もしいことを言いました。

ゆっくり、ゆっくり、歯を食いしばった二人に近づくと、「できた！」という声が上がりました。

自力で任務を完了したのです。